

**製品名: MYO15 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14319**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	388kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MYO15A
別名	MYO15A
遺伝子 ID	51168.0
SwissProt ID	Q9UKN7
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 2990~3070

**背景**

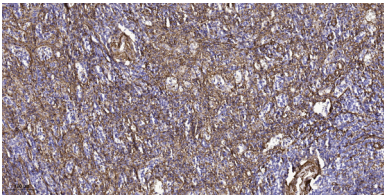
この遺伝子は、特異なミオシンをコードする。このタンパク質は、保存された運動ドメインの前に長い N 末端伸長部を有する点で、他のミオシンと異なる。マウスを用いた研究では、このタンパク質が蝸牛有毛細胞におけるアクチン組織化に必須であることが示唆

されている。この遺伝子の変異は、重度の先天性感覚神経性非症候性難聴と関連付けられている。この遺伝子は、17番染色体のミス・マゲニス症候群領域に位置する。上流遺伝子とこの遺伝子を含むリードスルー転写産物が同定されているが、融合タンパク質をコードするとは考えられていない。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションがいくつか報告されているが、それらの全長配列は未だ決定されていない。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：MYO15Aの欠陥は、非症候性感音難聴常染色体劣性3型 (DFNB3) の原因である[MIM:600316]。DFNB3は感音難聴の一種です。感音難聴は、内耳の神経受容体、脳への神経経路、または音情報を受信する脳領域の損傷によって引き起こされます。、function:ミオシンは、ATPase活性を持つアクチンを基盤としたモーター分子です。非定型ミオシンは細胞内運動に関与しています。その大きく異なる尾部は膜状区画に結合し、アクチンフィラメントに対して相対的に移動すると考えられています。成熟した毛束における不動毛の配列に必要。、類似性:1つのFERMドメインを含む。、類似性:1つのミオシンヘッド様ドメインを含む。、類似性:1つのSH3ドメインを含む。、類似性:2つのMyTH4ドメインを含む。、類似性:3つのIQドメインを含む。、細胞内局在:蝸牛および前庭有毛細胞の不動毛先端に局在する。、サブユニット:WHRNの不動毛先端への局在に必要なWHRNの3番目のPDZドメインと相互作用する。、組織特異性:下垂体で高度に発現する。成人の脳、腎臓、肝臓、肺、脾臓、胎盤、骨格筋にも低レベルで発現する。脳では発現しない。下垂体では、前腺細胞で高度に発現する。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脾臓組織の免疫組織化学分析。1、MYO15ウサギポリクローナル抗体を1:200に希釈した(4°で一晩)。2、クエン酸ナトリウムpH6.0を使用して抗原賦活化した(>98°C、20分)。3、二次抗体を1:200に希釈した。